

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

棚田保全による都市住民等との交流

1. 集落協定の概要

| | | | | |
|----------------|-----------------------------------|-------------|----|-------|
| 市町村・協定名 | 三重県亀山市坂本 <small>かめやましさがもと</small> | | | |
| 協定面積 20.7ha | 田(100%) 水稲、野菜 | 畑 | 草地 | 採草放牧地 |
| 交付金額 349万円 | 個人配分 | | | 48% |
| | 共同取組活動 (52%) | 機械・農作業の共同化 | | 34% |
| | | 農地の管理等 | | 11% |
| | | 水路・農道等の維持管理 | | 3% |
| | その他(役員報酬、会議費等) | | 4% | |
| 協定参加者 | 農業者 35人 | | | |

2. 取組に至る経緯

当集落は傾斜が急で農用地の維持が困難でありながらも、棚田の保全に努めてきたが、平成11年7月に「日本の棚田百選」に認定されたことにより、より力を入れて棚田を守っていこうという機運が生まれ、「坂本棚田保存会」の設立を行った。

このような状況の中、集落における農用地及び環境の保全の取組を一層推進するために、中山間地域等直接支払交付金を受けることとした。

3. 取組の内容

集落では、当交付金を活用して、区域内の水路・農道の維持管理及び点検調査、景観作物の対象農用地への作付けなどに取り組み、棚田が持つ良好な景観と多面的機能の保全に努めている。

また、都市住民との交流を目的とした、紙すき体験会や「坂本棚田野上がりまつり」を毎年開催するとともに、平成19年度からは、三重県のふるさと水と土保全対策事業の一環として、伝統技術継承のための「棚田石積み研修会」を開催している。この棚田保全の取り組みは、「坂本棚田保存会」を中心に積極的に行われており、今後も継続して開催する予定である。



棚田野上がりまつり



棚田石積み研修会

[集落の将来像]

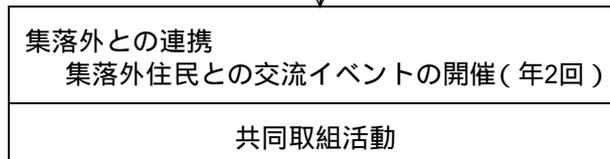
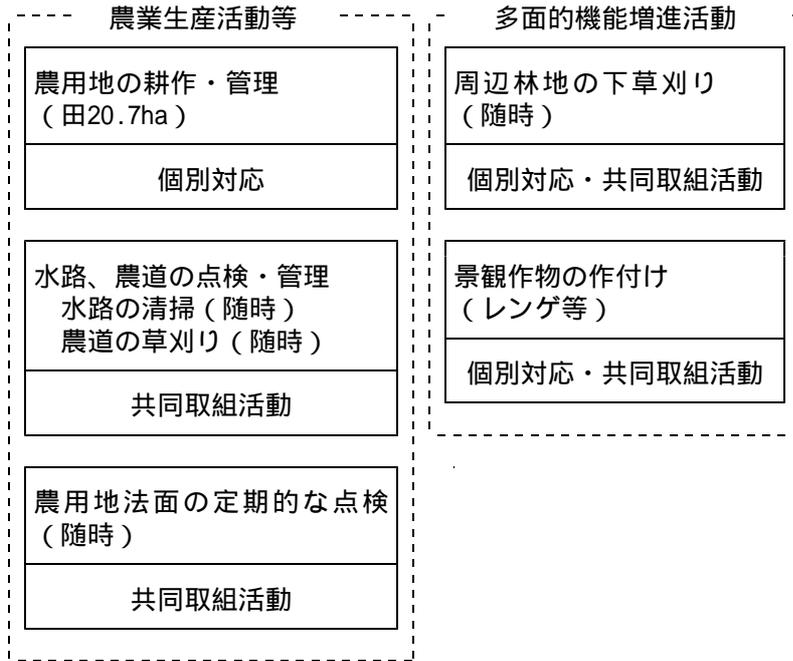
集落を基盤とした営農組合を組織する。
集落全体で景観作物の作付けを行う。
棚田の保全・管理を通じて都市住民等との交流活動を推進する。



[将来像を実現するための活動目標]

農業機械の共同購入及び共同利用による農用地の耕作・管理に努める。
景観に配慮し、非農家等と連携して集落全体で景観作物の作付けを実施する。

[活動内容]



4. 取組による変化と今後の課題等

将来にわたって継続的に農業生産活動が行えるよう、共同購入した農業機械を共同利用しており、集落及び協定参加者の農用地保全意識が向上した。将来的には集落を基盤とした営農組合を設立したい。

今後とも「棚田野上がりまつり」及び「棚田石積み研修会」を継続し、都市住民等との交流をより盛んにすることにより、棚田の魅力をアピールしていきたい。

[平成20年度までの主な成果]

農業機械の共同購入(トラクター、動力噴霧器)
棚田でのイベント実施による都市住民等との交流(毎年1,000名程度参加)